

There are simply too many different viruses, / [many of which change in slight ways / as they pass from person to person].

↑ 関係代名詞の非制限用法
as S V「…するにつれて」

内容Check!

問 次の各文が正しいければ () に○を, 誤っていれば×を記入しなさい。

1. Generally speaking, children at about age of four catch colds two to three times a year. ()
2. No one knows for sure why adults get fewer colds than children. ()
3. According to Dr. Ranit Mishori, there are so many types of virus that it is impossible to become immune to the common cold. ()

覚えておきたい表現

so that ~ 「その結果~」

ℓ.5 : However, says Dr. Ranit Mishori of Georgetown University Hospital, many people believe that it is possible to become immune to the common cold **so that** one gets fewer and fewer colds as he ages. 「しかし, とジョージタウン大学病院のラニ・ミシヨリ博士が言うには, 多くの人々が, 風邪に対して免疫をつけることが可能なので人は歳を取るにつれてどんどん風邪を引くことが少なくなる, と考えている。」

・so that ~はここでは「その結果~」を表す。下の例文のようにso thatの前にコンマを置くことが多いが, ないこともある。口語ではthatは省略できる。

Ex. I stayed up late last night, **so that** I overslept. 「昨晚遅くまで起きていたので寝過ごしてしまった。」

once+S+V 「いったん…すれば」

ℓ.8 : There are about 200 types of virus that cause the common cold, yet people think that **once** you get infected one time, you develop immunity for the rest of your life. 「風邪を引き起こすウイルスはおよそ200種類あります。でも人々は, 1回感染してしまえば, 残りの生涯の間は免疫ができると考えるのです。」

・接続詞のonceは「いったん…すれば」という意味を表す。ここでは, thinkの目的語となるthat節の中に, onceで始まる節が埋め込まれた形となっている。

Ex. **Once** my son starts to cry, it's hard to stop him. 「いったん息子が泣き始めると, 泣きやませるのが難しい。」

<many (some など) +関係代名詞> が導く節

ℓ.11 : There are simply too many different viruses, **many of which** change in slight ways as they pass from person to person. 「種類の異なるウイルスが本当にあまりにたくさんあって, そのうちの多くは, 人から人へとうつるにしたがって, わずかに変化するのである。」

・There are simply too many different viruses. と Many of the viruses change in slight ways as they pass from person to person. という2文を, 関係代名詞を用いてつなげると, 上のような形になる。whichはここでは関係代名詞の非制限用法として使われている。

Ex. There are a great number of books to read in this library, **some of which** may not be taken out. 「この図書館には読む本が非常にたくさんあるのだが, そのうちの何冊かは持ち出しが禁止されている。」

整理しよう! *段落要旨・構造*

大人の方が子供よりも風邪を引きにくい, その理由は明らかになっていない。

◆ ℓ.5 **However** 「しかし: 逆接」

・一般の人の考え …風邪に対する免疫をつけることが可能 → 年とともに風邪を引きにくくなる。

・医者の反論

…風邪の原因となるウイルスは約200種類もある。

◆ ℓ.9 **yet** 「けれども: 逆接」

人々は1回風邪を引けば生涯にわたる免疫がつくと考えている。

← これはまったく誤り

実際には非常に多くのウイルスがあり, その多くが人々の間で伝染するうちにわずかに変化する。

(→ 風邪を引けば風邪にかかりにくくなるという一般的な見解を否定)

背景知識

●風邪についての常識

医学的には風邪という名前の病気はなく, くしゃみ, 鼻水, 鼻づまり, のどの痛み, 咳, 発熱, 頭痛, 全身倦怠などを伴う症状を風邪症候群という。英語では common cold, cold syndrome と言われるが, その名の通り, ありふれた, 誰もがよくかかる病気である。しかし, その一方で確実な予防や治療などはわかっておらず, 誤った認識が持たれている。

風邪の90%以上の原因がウイルスで, 残り10%は細菌などによるものである。本文にもあるように, 風邪の症状を引き起こすウイルスは, 少なくとも200種あると言われている。一度感染しても, 免疫記憶がない別の風邪の病原体に感染すると, 何度も風邪症候群を引き起こすことになる。子供はすぐに風邪を引くが, 何度も風邪を引くことによって多くの種類の風邪ウイルスの免疫ができるので, 歳を取るにつれて風邪を引きにくくなる。同じウイルスに感染しても風邪を引く人と引かない人がいるのは, 免疫機構によるものであることがわかってきている。

風邪は冬に多く流行するため, 寒さが風邪の要因であると考えている人が多いが, これは誤りである。風邪の症状は寒さや冷えから起こるのではなく, 鼻やのどからウイルスが入ることによる。冬に風邪が多い一因としては, 寒い天候のため, 大勢の人が屋内で過ごすことによって, ウイルスが簡単に人から人へ感染することが考えられる。また, ウイルスは湿気が多いと, ちりやほこりと一緒に地面に落ちるが, 乾燥していると空気中に長時間漂っていられることも関連しているようである。

[深めたい人に]: ジェニファー・アッカーマン『かぜの科学—もっとも身近な病の生態』(早川書房, 2011年), 白田 篤伸『ぬれマスク先生の免疫革命』(ポプラ社, 2007年), 野口晴哉『風邪の効用』(ちくま文庫, 2003年)